2012 年 7 月 31 日

# プレスリリース

## DMP の 3D グラフィックス IP コア「PICA®200 Lite」が OLYMPUS Tough TG-1 に採用される

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル(本社: 東京都武蔵野市、東証マザーズ: 証券コード 3652、代表取締役社長 C.E.O. 山本達夫、以下 DMP)は、オリンパスイメージング株式会社(本社:新宿区西新宿、代表取締役社長 小川 治男)のコンパクトデジタルカメラ「OLYMPUS Tough TG-1」(2012 年 6 月 15 日発売)に DMP のグラフィックス IP コア「PICA200 Lite」が採用されたと発表しました。

PICA200 Lite は、超低消費電力や省回路規模を実現した GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェース)アプリケーションに最適な OpenGL ES 1.1 対応 3D グラフィックス IP コアです。OLYMPUS Tough TG-1 に搭載されている「アシスト GPU」及び「電子コンパス」がユーザーに提供する新体験は PICA200 Lite の 3D グラフィックス描画機能により実現されています。

DMP 代表取締役 C.E.O. 山本達夫のコメント:
「今回、オリンパスイメージング社のコンパクトデジタルカメラの最新機種である OLYMPUS Tough TG-1 に当社の PICA200 Lite が採用されました。当社 IP コアのオリンパスイメージング社製品への搭載はマイクロ一眼の 4 機種(OLYMPUS PEN E-P3、E-PL3、E-PM1、OLYMPUS OM-D E-M5)に続き今回で 5 機種目です。PICA200 Lite がコンパクトデジタルカメラからハイエンド機種であるマイクロ一眼カメラまで幅広く採用されていることを当社として非常にうれしく思っています。当社は今後とも組込み機器向けに最適なグラフィックス・ソリューション提供し続けていきます。」

**〔PICA200 Lite によるグラフィックス描画〕**



###

**PICA200 Lite について**
PICA200 グラフィックス IP コアは、アミューズメント、車載システム、携帯電話、ゲーム機、デジタル家電など、今後ますます成長が期待されるデジタルコンスーマー市場向け ASIC/ASSP/SoC (System on a Chip)アプリケーションの幅広い要求を満たすために、柔軟でスケーラブルな革新的ハードウエア・アーキテクチャを実現した、組込みシステム向け 3D グラフィックス IP コアです。OpenGL ES1.1 に対応しています。

**株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル(DMP)について**
2002 年7月の会社設立以来、DMP(東証マザーズ: 証券コード 3652)は日本発のリーディング・テクノロジー・カンパニーとして、主に組込み市場向けに最適な 3D グラフィックス技術の開発を続けています。幅広い組込み製品をカバーするハード、ソフトを含む 3D グラフィックス・ソリューションにより、新しいユーザー体験を提供する事を目指しています。また Khronos グループのメンバーとして OpenGL ES の仕様策定に主導的役割を果たしています。DMP に関する情報は http://www.dmprof.com/ で入手できます。

©2012 株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル
DMP、DMP ロゴ、および PICA は株式会社ディジタルメディアプロフェッショナルの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

**本件に関するお問い合わせ先**

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル 広報担当:星野/IR 担当:伊藤

TEL:0422-60-3480 e-mail:info_06@dmprof.com

Web サイト: http://www.dmprof.com/company/inquiry_form/